

文部科学省選定
「課題解決型高度医療人材養成プログラム」
採択事業

都市型

地域医療を

先導する

病院変革人材育成
「YCU病院経営プログラム」

令和元年度 事業報告書

19-20




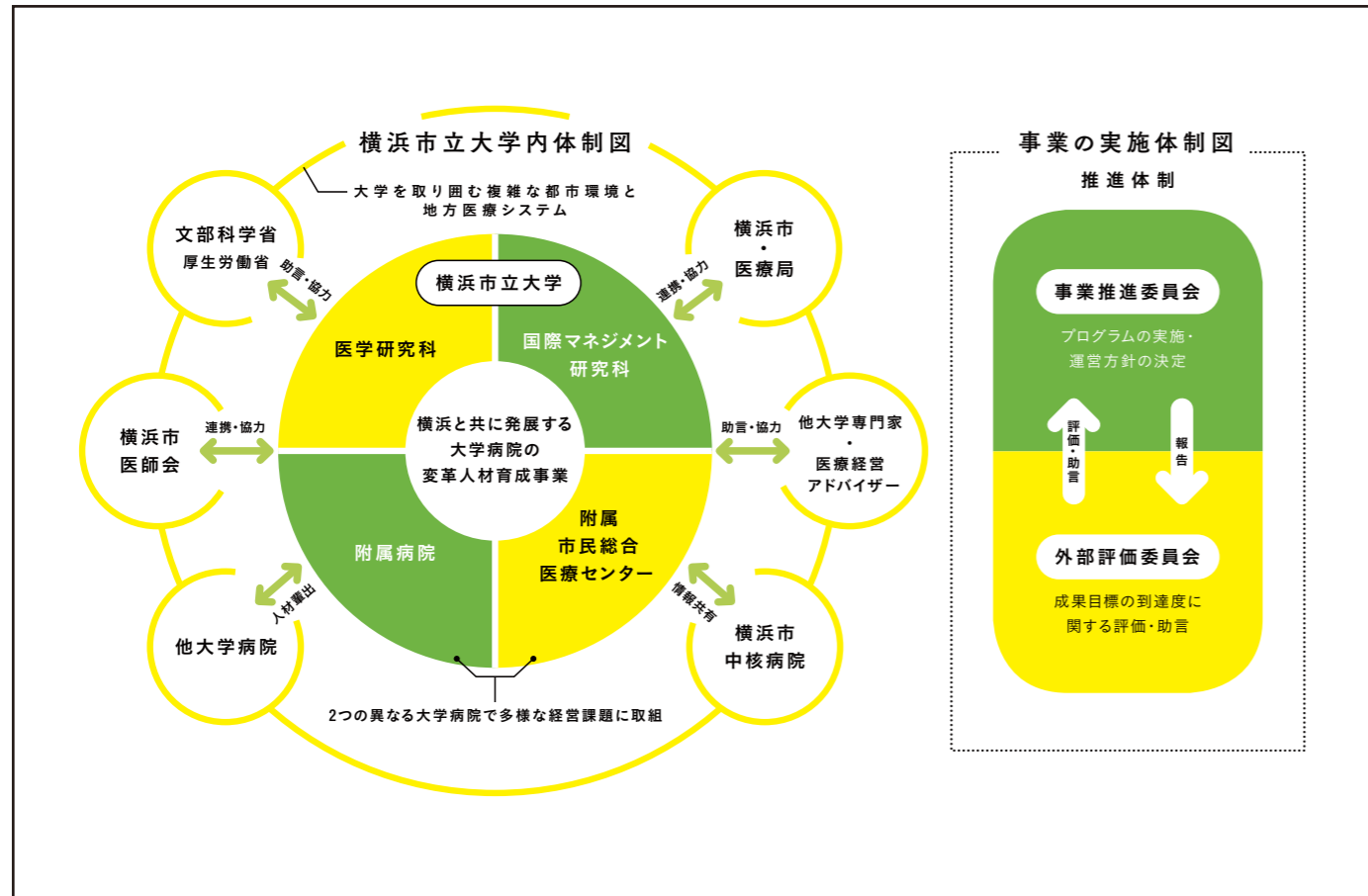
伝統と革新の、その先へ
1928 - 2028


横浜市立大学

横浜市立大学医学研究科・
国際マネジメント研究科
附属病院・附属市民総合医療センター

横浜市立大学「YCU病院経営プログラム」事業概要

<p>学長 ごあいさつ</p>	<h2 style="text-align: center;">地域医療を先導していく 次世代の病院経営者の育成を横浜で</h2>
<p>横浜市立大学 学長 窪田 吉信</p>	<p>横浜市立大学は、附属病院、附属市民総合医療センターという2つの大規模病院を有し、これまで高度な先進的医療のみならず、政策的医療提供など地域の安定的な医療に寄与してきました。一方、日本の社会は待った無しの少子高齢化社会を迎え、地域から求められる医療は日々変化すると共に、さまざまな課題を抱えています。大学病院においても例外ではなく、あらゆる変革が求められています。</p> <p>横浜市立大学はこれらに対応するため、経営改善プロジェクト等を立ち上げるなど取組みを進めているところであります。特に、病院長をはじめとする病院の管理職には、病院の役割をも十分に理解した上で、地域医療の中における医療政策を含めた医療経営の知識が求められるようになってきております。</p> <p>そのような中、横浜市立大学は、平成29年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択され、平成30年度から「YCU病院経営プログラム」をスタートすることになりました。医師、看護師、事務管理職、医療行政職の方々のための履修証明プログラムで、実践的なケーススタディを中心とし、医学研究科、国際マネジメント研究科、附属病院、附属市民総合医療センターの4拠点で展開していくものであります。</p> <p>次世代を担う新たな病院経営人材が育っていくよう、横浜市医療局や横浜市医師会とも連携しながら、大学として強力にプログラムを推進していきます。</p>
	



<h2 style="color: green;">事業概要</h2>	<h3 style="text-align: center;">都市型地域医療を先導する、 病院変革人材を育成するために</h3>
<p>急激な高齢化により、大学病院は様々な新たな課題に向き合うこととなります。</p> <p>典型的な都市型医療の課題－高齢化に伴う急性期病床の過剰と回復期・慢性期病床や地域の介護力等の不足、大学病院の使命である高度医療、急性期医療を終えた患者を地域の戻す際の困難さ等－を克服し、大学病院の健全経営を担保するために右記の資質を備えた人材の育成を行います。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 医療安全や病院管理等の基本的資質に加え、地域毎の医療環境の中での自院の戦略的ポジショニングを考え、大学病院を変革する力 ● 地域の医療・介護システムを構築していく中で大学ならではのリーダーシップを発揮し、病院単独では解決できない経営問題をその地域の行政・医療・介護の担い手、住民等と協働しながら解決する力 	
<div style="text-align: right;">  <p>附属市民総合医療センター病院長 本事業責任者 後藤 隆久</p> </div>	

プログラム実績

履修生受入実績

年度	定員	履修者
平成30年度	10名	15名
令和元年度	10名	15名
令和2年度	12名	18名

開催シンポジウム、セミナー

年度	テーマ	参加者
平成29年度	YCU病院経営プログラム キックオフシンポジウム 「大学病院と地域の病院・診療所との連携と機能分担都市における医療の課題と将来の方向」	109名
平成30年度	「更なる効率化と質保証に対処していくために！－医療ICTの機能拡充と活用－」	115名
令和元年度	Y C U 病院経営プログラム 公開シンポジウム 「修了生による地域医療・病院経営改善に向けた提言」	50名
令和2年度	Y C U 病院経営プログラム 公開シンポジウム(予定)	—

「YCU病院経営プログラム」内容※

大学病院長候補者、病院長を補佐する医師・医療従事者、看護管理職候補者、事務管理職候補者、自治体関係者などを対象にした1年間(最大2年間)のコースです。

※「履修証明プログラム」は、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学が主として社会人向けに体系的な教育プログラムを開設し、その修了者(120時間以上の履修を完了する者)に対し、学長名の履修証明書を交付するものです。

教育プログラムの育成人物像

1

超高齢社会に対応する日本の医療政策、および各自治体の実態を理解している。

2

高度急性期医療を使命とする大学病院が今後取るべき戦略や経営管理の方法について理解している。

3

複雑な都市環境における医療・介護・福祉の担い手と連携しながら病院経営を実行・助言できる。

安全管理学・ガバナンス

組織としての管理と現場での連携促進の2方向から患者安全を確保するための方策を学びます。
理想論の追求ではなく、リアルワールド(病院)での医療安全推進活動の見学や職員を対象にした医療安全教育の実体験を通じた学習を中心としています。
また病院長を経験された先生を講師に招いての講義も行っていきます。



履修プログラムの特徴

特別研究：ケーススタディ

特別研究を構成する一つのカリキュラムとして、ケーススタディの実施が組み込まれています。
ケーススタディとは、ケース(実際の病院や企業、組織)が有する経営課題を記述した教材を参加者が事前に読み、各々の視点で経営分析を実施し、経営課題に対しての意思決定の内容やその理由を教員の誘導の下で発表し、他の受講生や教員と議論していく講義となっています。



プログラムの内容

必須科目内容

医療政策学 15時間

医療における管理者の視点を養成することを目的として、医療政策学を学ぶ講義について開講する。本講義では、病院、保険者、横浜市、神奈川県、国の5つの視点から包括的に医療政策について学ぶ。

医療経営学 15時間

病院経営の理論と実際について学ぶ。具体的にはDPC及び原価情報の活用による経営改善や医療情報・医療データの二次利用方法に触れ、高度急性期医療を使命とする大学病院が今後取るべき戦略や経営管理の方法について理解する。

安全管理学・ガバナンス 15時間

組織としての管理と現場での連携促進の2方向から患者安全を確保するための方策を学ぶ。理想論の追求ではなく、リアルワールド(病院)での医療安全推進活動の見学や職員を対象にした医療安全教育の実体験を通じた学習を中心とする。

特別研究 52.5時間

特別研究(52.5h)・ケーススタディ研究・演習。大学病院の現場における、大学病院長主導による経営改善実習を行う。

選択科目内容(1科目選択)

臨床医学概論 22.5時間

医師以外の方を対象に、臨床医学のエッセンスを体系的に理解し、疾患の概念や特徴、臓器の機能と恒常性を保つためのからだのしくみを理解し、医学全般を俯瞰する能力を育成することを目的とする。臨床医学の最新動向、技術的進展、学術成果などを理解した上でそれぞれの研究において応用できるようになる。

臨床統計学 22.5時間

臨床試験でプロトコールを作成する上で必要な統計的手法を学ぶ。臨床研究で実際に用いられている統計手法(検定方法や回帰モデル)を習得する。解析ソフトを用いて講義で得た知識を実際のデータ解析に活用するための実習を行う。

医学教育学 22.5時間

人材育成のための能動的教育手法の実践と専門職連携の観念と教育手法の習得を目的として、イントロダクションの講義後、履修者と共にディスカッションを行う。

看護管理学 22.5時間

看護管理の理論と方法を概観し保健・医療・福祉システムの変化における看護管理上の課題を明確にし、看護管理者、CNSとして効果的に組織をマネジメントするために必要な知識を学習する。

看護政策学 22.5時間

看護の質向上に向けて求められる看護政策、制度の理念、機能、意義ならびにその展開に必要な知識と技法について今日の社会的背景も踏まえて学ぶ。

調査方法論 22.5時間

公的統計調査等について適切な調査の企画・設計ができるようになるため、調査票の作成方法や調査実施方法、標本抽出の方法や母集団推定の方法など、文理をまたいだ様々な技術について概要を網羅的に学ぶ。

公会計研究 22.5時間

公会計研究では、行政や病院、大学等における会計問題を対象とした研究を包括的にレビューし海外トップジャーナルにおける公会計研究の課題と展望を理解する。

医療イノベーション経営 22.5時間

医療イノベーション経営では、医療組織の経営戦略や経営資源の開発、マーケティング、医療の質の確保などについて学ぶ。受講生が履修しやすいよう、夏季土日等の休日に集中講義として実施する。

履修生の声

2018年度履修生

- ケーススタディの手法に初めて触れたが、意見を述べやすい雰囲気、ほぼ初対面の参加者同士、活気ある意見交換が行えたことが、とても良かった。また、自身の研究課題に対するサポートも、少人数制で対応していただけるため、より具体的に相談しやすい時間を設けられたことも良かったと思う。
- 地域包括ケアシステムや病院経営、横浜市等の取組を知ることができた。
- 選択科目の「医療イノベーション経営」は、集中講義でもより多くの内容を集中して学ぶことが出来た。医療を経営的視点、経済的視点、政策的視点といった多角的視点で見ることが出来た。
- 特別研究以外は終業後、休日に参加できたので仕事への影響を最小限にすることができてとても助かった。また、どの必修科目も一方的な講義でなく議論の時間もあったので、理解が深めることができた。

2019年度履修生

- 各科目とも興味深い講義が多くとても勉強になった。日頃、現実的な課題に直面し解決策を考えているが、改めて課題解決について体系的かつアカデミックに学ぶ機会に恵まれ、本当に充実した講義だった。
- 膨大な量の情報を的確にまとめて講義していただき、病院経営についての体系的な整理ができた。
- ケーススタディが非常に勉強になった。ケースを通じて自らが主体的に問題を分析し、解決策を模索する経験が出来たのと同時に、そこで感じた疑問を補うような座学の時間が用意されており、納得感の得られる講義だった。
- 先生のアシリテートを見るだけでも、自身がマネージャーとして職員の意見や主体性を引き出すにあたってのヒントを得られ、学びが大きかった。

本講受講者の履修をサポートする

e-learning、テキストブック、ライブラリー・図書館の利用、コーディネーターのサポート

本学の両附属病院等の現場を活かし、履修生が現場で感じている問題を分析、研究することで、病院経営を実践的に学ぶことができるような様々なサポートを行っています。履修生にとって受講しやすい環境を整えていきます。

e-learning

通学して講義を受ける時間の無い方、社会人の方へのサポートとして、講義の一部をe-learning システムで運用しています。「医療経営学」「医療政策学」の講座動画・テキストを配信するとともに、テスト等による進捗管理を行います。履修者はすべてのコンテンツを視聴可能です。

医療政策学、医療経営学テキストブック

本学の履修プログラムを学ぶ共通テキスト(本文132ページ)として、「医療政策学」「医療経営学」の内容をまとめています。「YCU 病院経営プログラム」のテキストブックとして受講者に配布します。



医療政策学、医療経営学テキストブック

ライブラリー、図書館の利用

病院経営マネジメントに必要な書籍を履修生が自由に貸出ができるライブラリーを附属病院とセンター病院それぞれの病院長室に作りました。また、大学の学術情報センターも履修生として利用が可能です。



横浜市立大学医学情報センター自習スペース

コーディネーターのサポート

履修生は、必修科目「特別研究」において、各自で決めたテーマで研究を進めます。最終的にはその内容をまとめ報告会で発表する必要があります。コーディネーターは、研究テーマの設定、調査方法や、研究内容のブラッシュアップ等、全面的に履修生の研究活動をサポートしてくれます。

令和2年度履修生の募集概要		本年度「課題解決型高度医療人材養成プログラムによる履修証明プログラム」履修者を募集しました。	
プログラム名	YCU病院経営プログラム	募集期間	平成30年11月14日～11月28日
募集人員	12名/年間	選考結果	合格18名(学外:7名、学内:11名)

医療経営研究会

研究会の目的

- 1 医療福祉の財務情報・非財務情報に関連する実証的研究を行い、研究成果を効果的・効率的な経営や政策に生かすこと
- 2 行政(横浜市)・事業者・研究者による交流を促進し、知見を深めること

開催の目的

病院・医療従事者の労働環境と生産性について議論し、これからの病院経営のあり方について検討すること

第9回医療経営研究会 大学院国際マネジメント研究科准教授 黒木 淳

日時 2019年7月20日(土) 10:00～13:00 参加者 40名(大学関係者、横浜市関係者、学外研究者、実務家)
場所 横浜市立大学文科系研究棟1F 大会議室 開催時間 10:00～13:00 (10:00～10:10 参加者自己紹介)

10:10～10:50 解題:効率的な病院経営の実現に向けて:IT活用とパフォーマンスの先行研究について
黒木 淳氏...大学院国際マネジメント研究科 准教授・会計検査院 特別研究官(兼)

11:00～11:50 「福岡県における地域医療構想の取り組みと地域医療構想の推進に必要な人材育成について」
村松 圭司氏...産業医科大学 公衆衛生学教室 准教授

12:00～12:50 「個人の能力が最大限に発揮できる環境とは～医療機関での人的資源管理の観点から～」
加納 一樹氏...ハイズ株式会社コンサルタント

12:50～13:00 総括&ディスカッション

第10回医療経営研究会 大学院国際マネジメント研究科准教授 黒木 淳

日時 2020年2月1日(土)9:30～12:30 参加者 37名(大学関係者、横浜市関係者、学外研究者、実務家)
場所 横浜市立大学文科系研究棟1F 大会議室 開催時間 9:30～12:30 (9:30～9:35 挨拶)

9:35～10:35 地域医療構想と424の公立公的医療機関等について
佐藤 大介氏...国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター 主任研究員

10:50～11:50 我が国における医療制度と支払基金における諸問題
田口 進氏...神奈川県社会保険診療報酬請求審査委員会 審査委員長

11:50～12:30 総括&ディスカッション

エクステンション講座

医療経営管理者養成プログラム

高齢化とともに急速に変化する医療環境に対し、複雑な都市の医療システム構築に貢献できる経営人材の育成が求められています。本プログラムは、それに必要な医療政策や医療経営に関する基本的内容を学ぶ講座群です。

医療経営学入門講座(参加者32名)

医療経営改善の実現方法および経営分析の2つの視点から医療経営について学ぶ

第1回 「病院経営におけるEBMgtと管理会計」
9月27日 講師:黒木 淳氏...横浜市立大学国際商学部准教授

第2回 「病院経営における財務分析」
10月18日 講師:上村 知宏氏...独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンター コンサルティンググループチームリーダー

医療政策学入門講座(参加者62名)

社会保険支払の仕組み、神奈川県における医療政策、医療政策と医療経営のかかわりの3つの視点から医療政策について学ぶ

第1回 「社会保険支払基金の動向」
11月1日 講師:戸谷 義幸氏...横浜市立大学附属病院血液浄化センター准教授

第2回 「神奈川県の医療政策」
11月8日 講師:中澤 よう子氏...神奈川県保健医療局医務監

第3回 「横浜市立市民病院の再整備計画と再整備後の構想」
11月15日 講師:石原 淳氏...横浜市立市民病院病院長、修理 淳...横浜市医療局長

講演会・シンポジウム

YCU 病院経営マネジメントプログラム 公開シンポジウム

「修了生による地域医療・病院経営改善に向けた提言」

日時 2019年4月27日(土) 13:30～16:30
場所 横浜市開港記念会館 6号会議室

第一部 研究報告

1. 相嶋 一登氏...横浜市立市民病院 臨床工学部医療機器管理担当係長 / 医療局医療政策課担当係長
2. 伊藤 秀一氏...横浜市立大学医学部小児科学教授
3. 杉本 彩氏...横浜市立大学附属市民総合医療センター 管理部 地域連携課 医療相談支援担当
4. 武田 理恵氏...横浜市立大学附属病院 看護部 外来担当 師長 特定行為看護師(感染)感染管理認定看護師

5. 畑 千秋氏...横浜市立大学附属病院 看護部 看護師長 がん看護専門看護師
6. 水野 祐介氏...横浜市立大学附属病院 手術部長 / 准教授

第二部 シンポジウム

テーマ「地域医療の中での病院経営と働き方改革」
パネリスト: 第一部の登壇者全員
コメンテーター: 修理 淳氏...横浜市医療局長

文部科学省 「課題解決型高度医療人材養成プログラム」 3プログラム 合同シンポジウム

日時 2019年6月8日(土) 15:00～17:15
場所 慶應義塾大学三田キャンパス 東館ホール(東館8階)

- 15:00～15:05 開会挨拶
- 15:05～15:35 基調講演 テーマ「医療経営人材について」
- 15:35～16:20 各大学発表(高知大学、横浜市立大学、慶應義塾大学)
- 16:30～17:10 シンポジウム テーマ「病院経営に求められる人材について」
- 17:10～17:15 総括・閉会挨拶



福浦キャンパス・附属病院



〒236-0004
横浜市金沢区福浦 3-9

金沢八景キャンパス



〒236-0027
横浜市金沢区瀬戸 22-2

附属市民総合医療センター



〒232-0024
横浜市金沢区浦舟町 4-57

YCU
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

横浜市立大学
医学教育推進課

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
TEL:045-787-2507 FAX:045-787-2767
E-mail:hp_mgt@yokohama-cu.ac.jp